

令和7年度 第Ⅰ四半期

保証季報

四半期事業概況

月別事業概況

京の企業

株式会社あしだ

金融機関紹介

京都北都信用金庫 伊根支店

お知らせ

京都中部経営リーダーズベースキャンプを開催しました

地元大学で講義を行いました

地元美術大学の学生による作品の展示

新入職員紹介

協会組織図



宮津市 / 天橋立

あなたの企業の一員に

 **京都信用保証協会**
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO

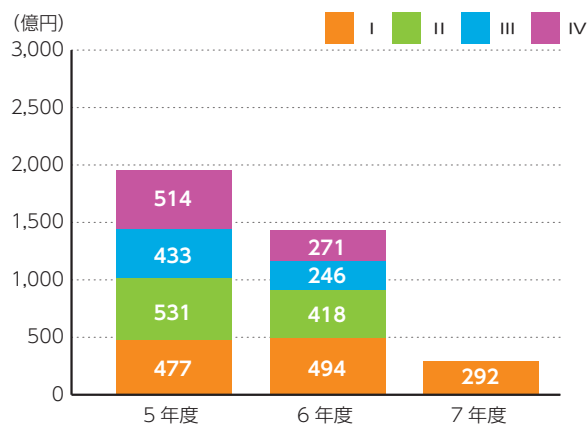




保証承諾

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	1,796	29,212	74.0	59.2
II				
III				
IV				
年度累計	1,796	29,212	74.0	59.2

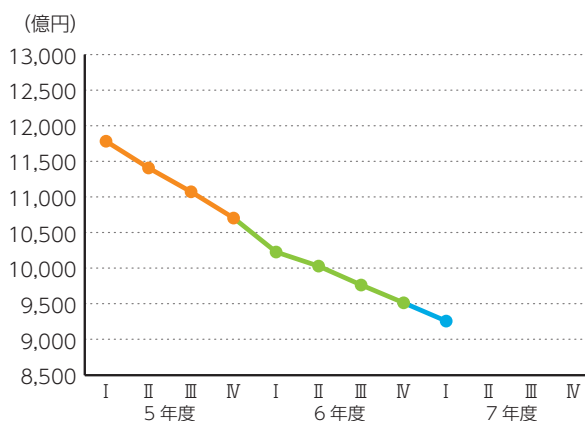


令和7年度第I四半期の保証承諾は、1,796件、292億12百万円となりました。
前年度同期と比べ件数で74.0%、金額で59.2%となり、件数、金額ともに下回りました。

保証債務残高

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	60,861	926,028	98.1	90.5
II				
III				
IV				

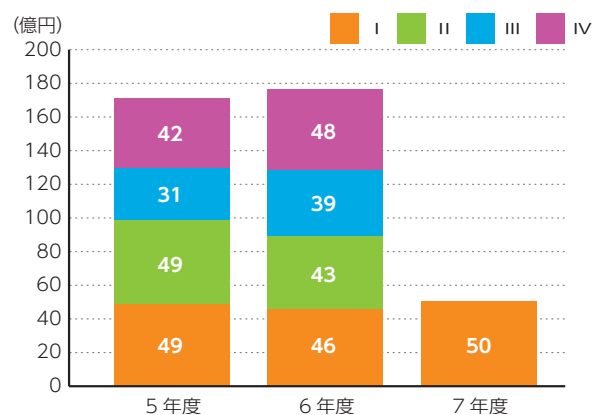


令和7年度第I四半期の保証債務残高は、60,861件、9,260億28百万円となりました。
前年度同期と比べ件数で98.1%、金額で90.5%となり、件数、金額ともに下回りました。

代位弁済

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	275	5,026	105.8	109.2
II				
III				
IV				
年度累計	275	5,026	105.8	109.2



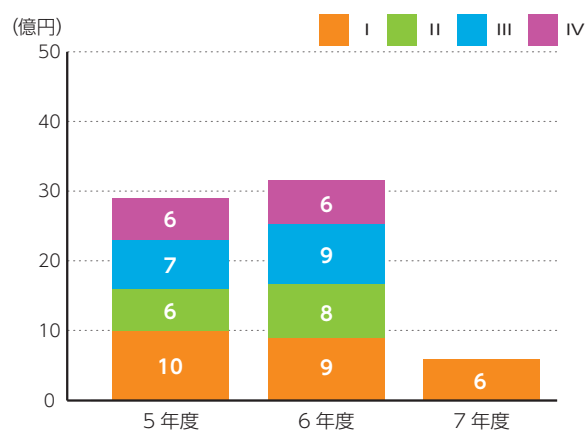
令和7年度第I四半期の代位弁済は、275件、50億26百万円となりました。
前年度同期と比べ件数で105.8%、金額で109.2%となり、件数、金額ともに上回りました。

求償権回収

(単位：百万円、%)

	件数	金額	前年同期比	
			件数	金額
I	43	629	87.8	68.9
II				
III				
IV				
年度累計	43	629	87.8	68.9

※損害金回収を含む。件数は完済分。



令和7年度第I四半期の求償権回収は、43件、6億29百万円となりました。
前年度同期と比べ件数で87.8%、金額で68.9%となり、件数、金額ともに下回りました。

月別事業概況

保証承諾

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	527	8,532	73.2	58.1
5	590	9,905	76.6	63.4
6	679	10,775	72.5	56.5
7				
8				
9				
小計				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
小計				
累計	1,796	29,212	74.0	59.2
事業計画	—	130,000	—	—
全国累計	134,221	1,916,136	84.6	72.9

※全国累計は速報値。

保証債務残高

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	61,179	942,323	97.7	90.1
5	61,041	933,308	98.0	90.5
6	60,861	926,028	98.1	90.5
7				
8				
9				
上期平残				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
下期平残				
年度平残				
事業計画	—	860,000	—	—
全国累計	2,889,688	33,749,294	99.4	94.7

※全国累計は速報値。

代位弁済

(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	64	1,416	60.4	87.1
5	89	1,354	112.7	75.3
6	122	2,255	162.7	191.5
7				
8				
9				
小計				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
小計				
累計	275	5,026	105.8	109.2
事業計画	—	22,000	—	—
全国累計	11,603	131,901	97.0	97.6

※全国累計は速報値。

求償権回収

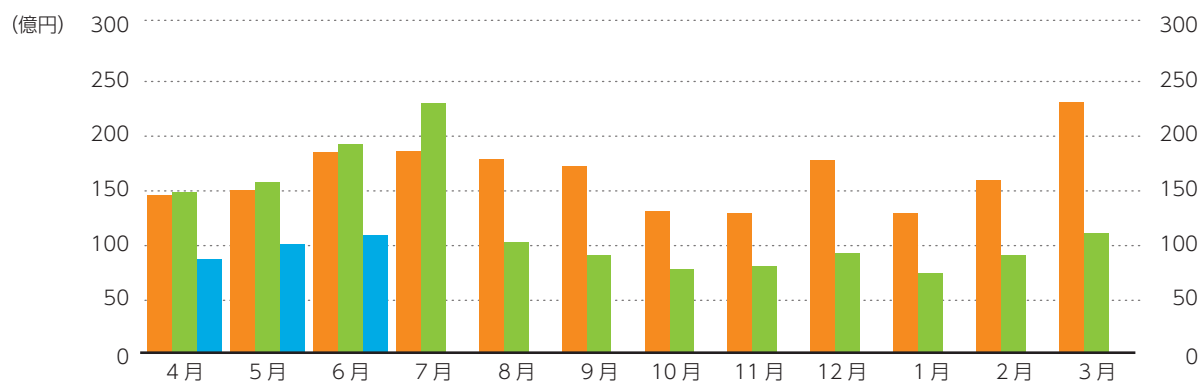
(単位：百万円、%)

月別	件数	金額	前年同月比	
			件数	金額
4	13	166	72.2	61.7
5	19	281	105.6	76.2
6	11	182	84.6	66.3
7				
8				
9				
小計				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
小計				
累計	43	629	87.8	68.9
事業計画	—	2,700	—	—
全国累計	—	22,416	—	99.0

※損害金回収を含む。件数は完済分。全国累計は速報値。

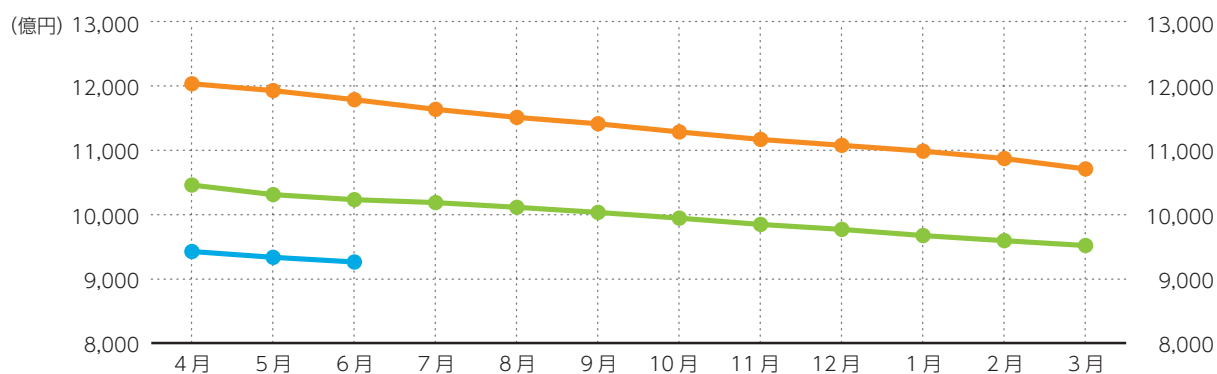
保証承諾

令和5年度 令和6年度 令和7年度



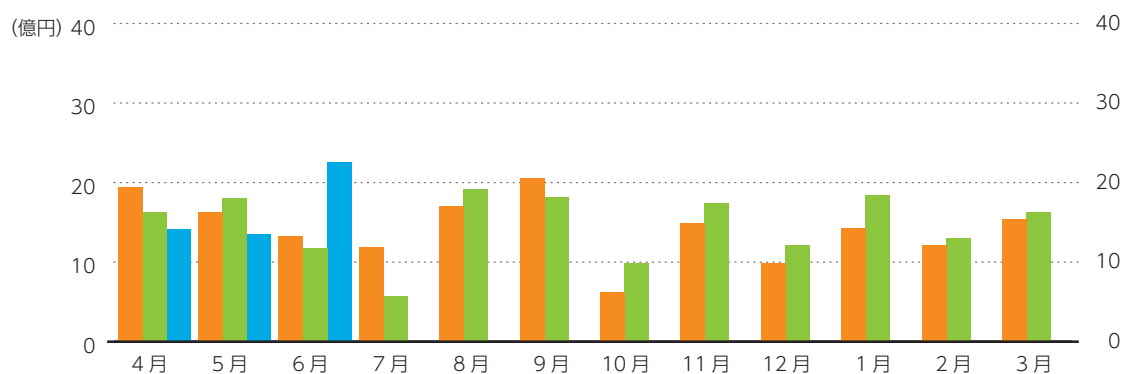
保証債務残高

令和5年度 令和6年度 令和7年度



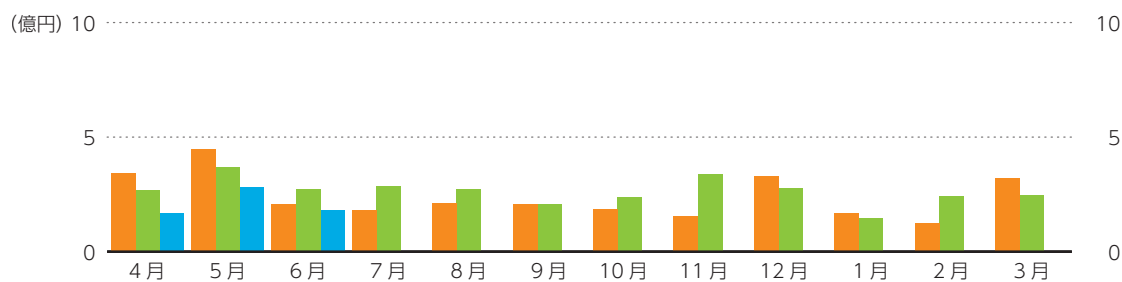
代位弁済

令和5年度 令和6年度 令和7年度



求償権回収

令和5年度 令和6年度 令和7年度



株式会社 あしだ

株式会社あしだは、京都府南丹市で木材伐出業を営んでいます。

同社の代表取締役 芦田 竜一 様のご子息で事業承継者（アトツギ）である取締役 芦田 拓弘 様は、令和7年2月20日に開催された中小企業庁主催の第5回「アトツギ甲子園」決勝大会で、最優秀賞の「経済産業大臣賞」を受賞されました。今回、アトツギとなるまでの経緯や事業の取り組み、アトツギ甲子園への挑戦、今後の展望などについてお話を伺いました。

アトツギとなるまでの経緯を伺いました。

私は、京都府南丹市日吉町という自然豊かな地で生まれ育ちました。自宅の前が会社だったので、丸太を運ぶトラックが出入りし、従業員の方と挨拶を交わすことが日常で、家業は身近な存在でした。

しかし、小学生になると、あと50年で石油が枯渇するという予測や、南極の氷が溶ける映像、アマゾンの焼畑農業のニュース等の環境問題を目にすることが増え、木を伐採する家業に対して森林破壊のイメージを抱き、どこか後ろめたさを感じるようになりました。

父からは、家業を継いでほしいと言われたことはなく、進路は自由に選ぶことができました。大学受験で進路を決める際に、田中耕一氏がノーベル化学賞を受賞された時のことを思い出し、社会に貢献できる化学の可能性に惹かれるものがありました。元々環境やエネルギーに関心があったこともあり、化学系の大学・大学院へ進学し、太陽光発電の研究に取り組みました。卒業後は、実用的なものを作って社会貢献したいという思いがあり、エネルギー系のプラントエンジニアになりました。コロナ禍では、国家プロジェクトであるコロナワクチン製造工場の建設から引渡しまで担当しました。プロジェクトをチームで協力してやり切ったことで自信が付き、社会貢献への思いが深まりました。エンジニアの仕事と並行して、家業のホームページの林業に関するブログ「Woody ニュース」を作成していました。毎日、記事を投稿するために、林業について調べるようになり、徐々に林業に対して

抱いていた森林破壊というイメージが、持続可能な資源循環型の産業という認識へ変わっていきました。

そして、5年間のプラントエンジニアとしての勤務を経て一区切りがついたタイミングで、改めて家業に目を向けました。その頃、林業は、ウッドショックやカーボンニュートラルといった大きな転換期を迎えていました。元々林業は、流通経路も複雑で、消費者が木材そのものを購入することは少ないため、どのような業界なのか、一般からの認知がないと言えます。認知度の低さに加え、少子高齢化による国内の林業従事者の減少、輸入丸太の安価・高品質・大量供給が影響し、国内の森林の若返りが行われず、森林が吸収するCO₂量が減少する等、様々な課題を抱えていました。この負のスパイラルから脱却するためには、木材業界全体でのサプライチェーン改革が必要であると感じました。自身のエンジニアとしての経験を活かせることができれば、その改革に貢献できるのではないかと、アトツギになることを決意しました。



事業の取り組みを伺いました。

当社は長年、木材伐出業一本足打法でしたが、業界全体が縮小傾向にある中、持続可能な会社づくりには、新しい取り組みが必要だと感じました。そこで、「林業を通じて人と森をつなげる」をミッションとして、株式会社 Eco Forest Friendly を設立し、10の新規事業に取り組んでいます。その1つが、第5回「アトツギ甲子園」で経済産業大臣賞を受賞した「EFF 木材流通システム」です。業界のサプライチェーン問題を根本から解決する画期的なシステムで、メインユーザーであるメーカー（工務店や家具メーカー）が、ボタン1つで様々な先から国産木材を仕入れることができます。これにより、アナログで閉鎖的だった木材流通をデジタル化し、適正価格での取引や効率的な販売が可能となりました。



京都 EcoPay

その他、国が運営する「J-クレジット^{※1}」を活用したエコポイントアプリ「京都 EcoPay^{※2}」を開発しました。導入店でEcoPayによるキャッシュレス決済をすることで、お店と買い物客への一部キャッシュバックやポイント還元、CO₂削減に貢献できる仕組みとなっており、京都府地域が一丸となって環境保全に取り組んでほしいという思いを込めています。

また、加工が難しい広葉樹を使用した床タイル製造、薪販売、木工教室、キャンプ場の開発、薪ストーブ販売、ストーブカフェ、木製品のネット販売など、多角的に「人と森をつなげる」ための事業を展開しています。

※1 J-クレジットとは、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取り組みによる、CO₂等の温室効果ガスの排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。

※2 京都 EcoPayの詳細は、右の二次元コードからご覧いただけます。



保証協会へのメッセージ

今後、経営支援に関するセミナーやイベントで、私に協力できることがあれば、ぜひ参加させていただきたいです。今度は、自分が同じような立場のアトツギの方々の方の力になれると思っています。

京都府は、家業において、優れた技術を持つ伝統産業が多くありますが、経営判断が難しい面も多くあります。そうした部分への保証協会からのサポートを今後も期待しています。



代表取締役 芦田 竜一 様、取締役 芦田 拓弘 様

アトツギ甲子園への挑戦について伺いました。

アトツギ甲子園とは、全国各地の中小企業・小規模事業者の後継予定者が、既存の経営資源を活かした新規事業アイデアを競う中小企業庁主催のピッチイベント（短時間でプレゼンテーションを行う場）です。

林業全体の課題解決を目的としている新事業の「京都 EcoPay」や「EFF 木材流通システム」を行政等に広く認知してもらいたいという思いが常々ありました。そんな時に、インターネットで偶然アトツギ甲子園を見つけ、「これだ」と直感し、すぐに挑戦することを決めました。

1 回目の挑戦では、「京都 EcoPay」をテーマとし、自力で甲子園に関する情報を集め、準備も 1 人で行いましたが、近畿ブロックの地域予選大会のピッチ本番で、発表時間をオーバーしてしまい、敗退となりました。その時に近畿ブロックに出場した多くの出場者が、保証協会のサポートを受けていたことを知り、保証協会の存在を初めて認識しました。また、その場で保証協会の担当者から声をかけていただき、保証協会が催している「京都府中部アトツギベンチャーセミナー」や「京都アトツギゼミ 2024」への参加に繋がりました。

2 回目の挑戦では、リリースが決まっていた「EFF 木材流通システム」をテーマにしました。実を言うと、1 回目ですり切った思いが強く、2 回目の出場は考えていませんでした。「京都アトツギゼミ 2024」で「EFF 木材流通システム」をブラッシュアップし、最終講義での発表を迎える中で、2 回目の挑戦を決め、保証協会担当者の伴走支援を受けながら準備を進めました。自分だけでエントリーシートやパワーポイント資料を作成していた時には、どこかで「これくらいでいいだろう」と妥協してしまいがちでしたが、第三者の視点を入れることで資料の質が大きく向上し、自分では気づけなかったポイントにも目を向けられるようになりました。決勝大会の直前には、自治体や中小企業支援機関、商工団体、地域金融機関等を巻き込んだリハーサルも実施していただ

今後の展望について伺いました。

当社のミッションは「林業を通じて人と森をつなげる」、そしてビジョンは「社会に求められる仕事を体現し三方良しを実現すること」です。現在、株式会社 Eco Forest Friendly で進めている 10 の新事業を通して、林業の正しい認知拡大に貢献したいと考えています。林業は、丸太を市場に卸す BtoB 構造で、丸太を市場で販売し、製材所や工務店を通じて最終的に消費者へ届くまでに距離があります。この消費者との距離が、世間の認知がないことの一大因だと考えています。

林業自体が大きな節目を迎えていることもあり、今後は木材流通の過程における境界が薄れ、よりシームレスなサプライチェーンが求められるようになります。その変化を見据え、エンジニアの経験を活かした「林業×IT」を通じて、ミッションに共感してくれる仲間と共に、新たな林業の姿を作り、業界全体を盛り上げていきます。



前列右から 4 人目が芦田 拓弘様

き、自信を持って出場することができました。全国からエントリーした 189 名の後継者が 6 か所の地方大会で、アイデアを競い、決勝大会には私を含む 18 名が進出しました。私の発表した「林業のサプライチェーン革命！日本経済を変える木材流通システム」と題した新事業プランは、林業のサプライチェーンのプラットフォーム化によって、木材流通の円滑化を促す画期的なシステムであり、林業全体の課題解決から日本経済の活性化につながる点を評価され、最優秀賞である「経済産業大臣賞」を受賞することができました。

本業と並行しながらアトツギ甲子園への挑戦は、正直大変でしたが、保証協会の担当者と密に打ち合わせを重ねたおかげもあり、1 回目では得られなかった高い成果を得ることができました。経済産業大臣賞を受賞できたのは、保証協会や金融機関、支援機関の皆様の伴走支援があったからこそだと考えています。保証協会の担当者には、林業や木材業界の勉強までしていただき、何度も一緒に考え、支えてくださったおかげで、アトツギ甲子園に挑戦する過程で事業もブラッシュアップされ、より良いものとなりましたし、私自身も大きく成長できたと実感しています。



株式会社あしだ

代 表 者 代表取締役 芦田 竜一

取 締 役 芦田 拓弘

住 所 京都府南丹市日吉町胡麻下道 26

事業内容 木材伐出業

創 業 1963 年（1993 年法人化）





京都北都信用金庫 伊根支店



支店のスローガン

5人全員がひとつのチーム、 それぞれが最善の努力をする

小規模店舗の特性を活かし、全員が情報共有し、連携することでスピード感を持ち、かつ、きめ細やかな対応で伊根の地域に寄り添う店づくりを心がけています。

支店の沿革

昭和46年 6月
北京都信用金庫の9番目の支店として開設
平成8年 1月
北京都信用金庫、丹後中央信用金庫、網野信用金庫、丹後織物信用組合が京都北都信用金庫として合併・名称変更
平成14年11月
京都北都、福知山、東舞鶴、舞鶴、綾部の5信用金庫が合併
平成15年 4月
舟屋群で有名な伊根の街並みとの調和を追求した白い漆喰と焼杉を基調とした外観を持つ店舗が現在地に新築移転



〒626-0423
京都府与謝郡伊根町字平田 133

支店管内の産業の特色及び中小企業金融の取組みなどについて

管内の主要産業は、観光業及び農業、漁業です。店舗を置く伊根町は、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、町の舟屋群を目当てに国内外の観光客が多数訪れ、当店舗の前でも、毎日のように様々な人種、国籍の観光客が行き交う姿を見ることができます。伊根町への観光客数が年間40万人を超える中、観光関連業種においては、若手経営者が新たな事業展開を模索する等の状況があり、町内に店舗を置く金融機関として、お客様のご相談にスピーディに対応できるよう心がけています。

保証協会との連携について

原材料、人件費などの物価高騰や関税問題など、お客様の生活や事業に大きな影響を与えかねない状況が続く中、事業者との面談機会を大切にして多くの情報を聞き取り、保証協会様と連携して経営支援に取り組んでまいります。また、当地域においては、新たな事業を開始する小規模事業者もあり、創業支援などの取組みにも連携してまいります。



支店長のモットー

感謝の気持ちを忘れない

私事ですが、今年は、金庫に勤務して節目の30年となります。子育てと両立しながらこれまでやってこられたのは、周囲の方々に様々な形で支えられてきたからです。家族はもちろん、金庫の上司や同僚・後輩、そして当庫をご愛顧頂いているお客様へ感謝の気持ちを常に忘れることなく、仕事に取り組むことを心がけています。



支店長 荻野 麻里子 様

これまでで一番心に残る体験

10年以上前のことになりますが、相続に伴う手続きを進める中で、私のお伝えの仕方が悪く、不備事項の訂正が必要となり、お客様に苦言を呈されたことがありました。正直、お叱りを受けた後は気まずく、対応するのも腰が引けていたのですが、「それではいけない」と襟を正し、その苦言を真摯に受け止めながら誠意をもって対応し、何度か足を運ぶうちに、深いお話を聞かせていただけるようになり、最後には、「丁寧に対応してくださってありがとう。あなたの対応がどの金融機関さんよりもよかったですよ。」というお言葉をいただきました。この仕事をしていて良かったなと強く実感できた瞬間でした。

職員の方々へのアドバイス

体験のところに触れたように、仕事をしていれば失敗することもあります。「お金」やそれに付随する「情報」といったお客様にとって、とても大切なものを扱っているからには、一定以上、慎重であることは必要です。しかしながら、失敗を恐れるあまり保守的になりすぎないで欲しいです。前向きな気持ちとチャレンジ精神で、仕事はもちろんのこと、自らの人生も楽しむ気持ちで歩んで欲しいと思います。

保証協会へメッセージ

保証協会様との連携のところで触れたとおり、人手不足や事業承継など、お客様に想定される様々な課題解決のため、保証協会様へご相談が必要となった際には、今後も引き続き、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

●お知らせ●

京都中部経営リーダーズベースキャンプを開催しました

令和7年5月から7月にかけて、45歳以下の起業予定、又は起業して事業を進められている方及び事業を引き継ぐ予定、引き継いでいる経営者を対象に、「京都中部経営リーダーズベースキャンプ」を亀岡市・亀岡商工会議所・京都先端科学大学が共同運営するオープンイノベーションセンター・亀岡（OICK）と共催しました。

先輩経営者から会社経営に必要な知識や経営ノウハウを学ぶとともに、様々な悩みを持つ若手経営者が、互いの課題や悩みを共有し、共に解決策を探る機会を設けることで、経営者としての成長を後押ししました。



DAY1の様子



地元大学で講義を行いました

令和7年4月11日（金）、京都経済短期大学の会計ファイナンス専門ゼミに当協会経営支援課職員を講師として派遣し、信用保証協会の役割や、当協会の経営支援内容について、説明しました。

引き続き、大学等と連携しながら、地域産業の発展を担う人材育成に寄与していきます。



地元美術大学の学生による作品の展示

平成30年度から、当協会では京都市立芸術大学と連携し、学生の教育支援を目的に、学生が制作した芸術作品を本所に展示しています。

今年度は、新たに井澤 愛衣氏の作品（油画）を本所エントランス正面に展示しています。

また、これまで展示していた作品も、応接通路に引き続き展示していますので、併せてご覧ください。



井澤 愛衣 氏

「思い出すのは忘れた姿」（油画）

作品説明

記憶の変質をテーマ制作。どんな記憶も完全な形を保てず姿を変え続ける。その中で起こる得喪を油彩モノタイプを用いて研究。

令和7年度 新入職員紹介

今年度は、3名の新入職員を迎えました。
今後は、皆様とお会いする機会も増えると思いますので、ご指導の程、よろしくお願いいたします。

- …… 1 私のモットー
質問事項 2 学生時代に熱中したこと
3 今、一番興味があること
…… 4 今後の抱負



債権管理部 管理第二課

あらい けんた
新井 健太

- 1 「心の持ち方次第」です。何事も気持ちの持ち方で大きく変わると考えています。自分なりのやりがいを見つけたり、捉え方を工夫したりすることで頑張れるので、その考え方を大切にしています。
- 2 旅行です。特に、青春18きっぷを使用して東京まで鈍行列車で移動する等、時間に余裕のある学生時代だからこそできる旅に熱中しました。
- 3 御朱印巡りです。学生時代最後の春休みに、「京都十六社朱印めぐり」に参加しました。その際に、御朱印帳の方も集め始めたので、今後も地道に集めていきたいです。
- 4 まだまだ分からないことばかりですが、少しでも早く一人前として信頼される存在となれるよう、全力で努めます。よろしくお願いいたします。



企業支援部 調整支援課

たけいし あおね
武石 葵音

- 1 「継続は力なり」です。目標等に対して、諦めるのではなく、自分ができることを把握し、優先順位を決めてコツコツ努力することを心掛けています。
- 2 神社仏閣巡りに熱中しました。サークル活動で経験した重要文化財のガイドボランティアが、良い思い出です。御朱印も集めているため、今後も集めたいです。
- 3 京都のカフェ・ごはん・パン屋巡りに興味があります。まだまだ気になるお店がたくさんあるため、休日等を利用して巡ることが楽しみです。
- 4 まだまだ不慣れなことも多くありますが、一つ一つ確実に業務を身に付け、皆様のお役に立てるよう努めます。よろしくお願いいたします。



企業支援部 企業発展課

なかい ひゅう
中井 彪生

- 1 偏見を持たないことです。偏見を持たないために、物事に対して、実際に体験することや知識をつけるようにし、業務に取り組みます。
- 2 野球です。小学校に入る前から始め、計12年間続けてきました。今でも、高校野球やプロ野球、メジャーリーグを見て、野球観戦を楽しんでいます。
- 3 格闘ゲームです。始めてから3か月ほぼ毎日、空き時間にプレイしています。仕事に影響が出ないよう、公私分けて楽しんでいます。
- 4 今はまだまだ未熟ですが、目の前の仕事に精一杯取り組み、できて当たり前のことを増やせるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

協会組織図 (令和7年8月1日現在)

理事長 山内 修一

副理事長 別府 正広(担当:企画総務部・支所)

専務理事 川口 英之(担当:企業支援部)

常務理事 窪田 雅之(担当:債権管理部)

常勤監事 石田 一路

本所

経営監査室

室長/紀 ————— [兼務] 課長補佐/松本 ————— [兼務] 担当係長/西川

企画総務部

部長/玉野 ————— 副部長/長島(岳) —————

- 総務課** ————— 課長補佐/松本 ————— 担当係長/小川(亮)
課長/阪東 担当係長/西川
担当課長/高山 担当係長/山口(葉)
業務推進役/石井
- 人事課** ————— 係長/中川
課長/重松 係長/西澤(栄)
- 情報企画課** ————— 課長補佐/玉井(淳)
課長/若木 課長補佐/小嶋
推進役/上松

コンプライアンス室 ————— [兼務] 担当課長/高山 ————— [兼務] 担当係長/山口(葉)
[兼務] 室長/長島(岳)

企業支援部

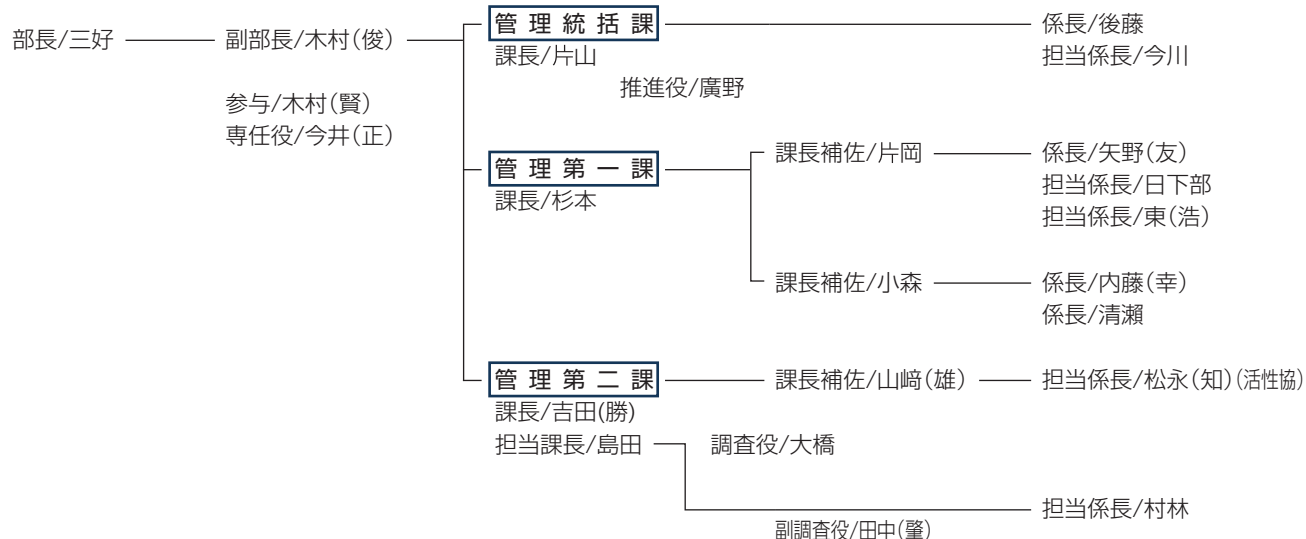
部長/大月 ————— 副部長/北本
副部長/東郷(克)

担当部長/吉田(基) ————— 副部長/松永(和)
副部長/糠谷
参与/上原

- 保証統括課** ————— 課長補佐/常盤 ————— 係長/西山
課長/河合
- 企業発展課** ————— 課長補佐/土居 ————— 係長/山崎(大)
課長/石河(良) 担当係長/戸出
担当課長/矢野(哲)
- 企業支援課** ————— 課長補佐/石河(俊) ————— 担当係長/藤野
課長/内海
- 経営支援課** ————— 課長補佐/大嶋 ————— 担当係長/廣瀬
課長/横澤 担当係長/藤村(真)
担当課長/村井(章)
推進役/三輪
- 再生支援課** ————— 係長/小坂(勇)
課長/掛田 担当係長/篠(英)
担当課長/浅井
- 調整支援課** ————— 課長補佐/高木 ————— 係長/山形
課長/廣部

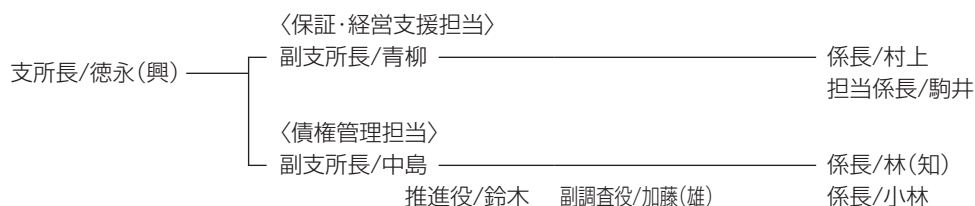
本所

債権管理部



支所

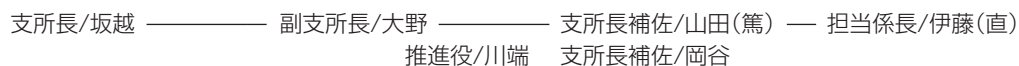
山城支所



南丹支所



中丹支所



丹後支所



本 所

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷
鉾町78番地 京都経済センター5階

●業務区域 京都市、向日市、長岡京市、乙訓郡

●電 話

●FAX

保 証 統 括 課	課：(075) 354-1011	(075) 354-1061
企 業 発 展 課	課：(075) 354-1012	(075) 354-1062
企 業 支 援 課	課：(075) 354-1013	(075) 354-1063
経 営 支 援 課	課：(075) 354-1015	
再 調 整 支 援 課	課：(075) 354-1016	(075) 354-1065
管 理 統 括 課	課：(075) 354-1031	(075) 354-1038
管理第一課・第二課		
総 務 課	課：(075) 354-1021	(075) 354-1028
(経営監査・コンプライアンス室)		
人 事 課	課：(075) 354-1022	(075) 354-1028
情 報 企 画 課	課：(075) 354-1023	(075) 354-1029

専用相談窓口

●電 話

事業承継サポートデスク (075) 354-1018

海外展開サポートデスク (075) 354-1019

創業サポートデスク (075) 354-1020

山城支所

〒611-0033 宇治市大久保町上ノ山37番地の3

●業務区域 宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、
相楽郡、綴喜郡、久世郡

●電 話

●FAX

保証関係：(0774) 43-8822 保証関係：(0774) 43-8899

管理関係：(0774) 43-8823 管理関係：(0774) 43-8824

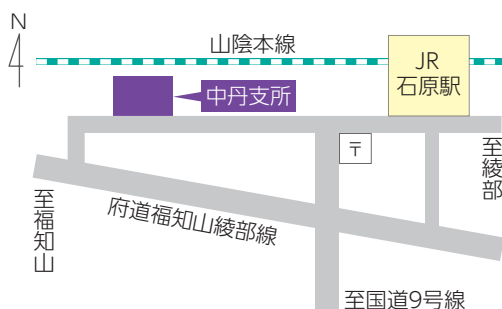


中丹支所

〒620-0804 福知山市石原2丁目24番地

●業務区域 福知山市、綾部市、舞鶴市

●電 話 (0773) 27-6156 ●FAX (0773) 27-6158



南丹支所

〒621-0052 亀岡市千代川町千原2丁目6番11号

●業務区域 亀岡市、南丹市、船井郡

●電 話 (0771) 22-1041 ●FAX (0771) 22-6737



丹後支所

〒629-2503 京丹後市大宮町周枳小字古屋敷1925番地1

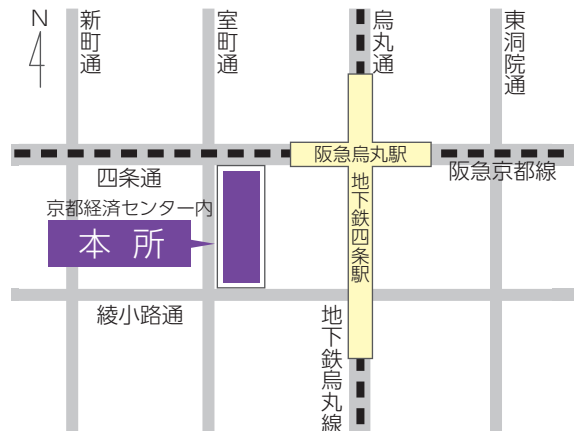
●業務区域 宮津市、京丹後市、与謝郡

●電 話 (0772) 68-0601 ●FAX (0772) 68-0613



お役立ち情報を公式LINEにて随時配信中！
ぜひ、友だち登録をお願いします！

LINEID @cgc-kyoto



保証季報

令和7年度

第I四半期

あなたの企業の一員に

京都信用保証協会
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF KYOTO



<https://kyosinpo.or.jp/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

京都信用保証協会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

